東証プライム 3036

アルコニックス株式会社

会社説明会



INDEX

- 1. 会社紹介
- 2. 「こんなところに『アル』コニックス」
- 3.業績の推移と長期経営計画2030
- 4.株主還元と 株主優待

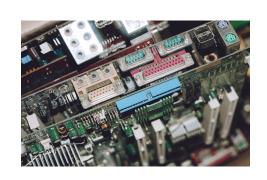


1. 会社紹介



非鉄金属:鉄ではない金属の総称

銅、アルミ、ニッケル、チタン、リチウム...









非鉄金属業

国内総出荷額: 10 兆円 従業員数: 14 万人

鉱石

川上

1次精錬·精製/2次精錬·精製

川中

圧延、押出、加工、鋳鍛造等

非鉄金属 卸売業

販売額:6兆円、従業員数:2万人

ALXの 主要領域は ここ!!

川下



産業機械産業 41兆円、116万人



自動車製造業62兆円、92万人



電気·電子機器 情報通信関連産業 42兆円、104万人

左上の動画をご覧ください

アルコニックスグループ パーパス・ビジョン





パーパス《グループの存在意義》

どこかにいる、だれかの未来のために

当社グループが取り扱い、製造している原料・素材・製品の多くは、そのままでは用途が分からないものですが、全てが地球のどこかにいるだれかの豊か(well-being *)な未来のためのものであるという誇りを持っています。

*"Health is a state of complete physical, mental and social well-being," (WHO憲章)



ビジョン《グループのありたい姿》

ヒトをつなぐ、モノをつなぐ、技術をつなぐ

当社グループは、"どこかにいるだれかの未来のために"あらゆる機会をとらえ、ヒト、モノ、技術を縦横無尽につなぐ存在でありたいと考えています。

数字で見るアルコニックス

連結売上高

連結経常利益

1,907 億円 75 億円

※ 2025年 3月期実績

経常利益に占める製造セグメントの比率

64%

※ 2025年 3月期実績

実績ROE ※ 株主資本利益率 8.6%

(5年平均 ROE **9.3** %)

※ 2025年 3月期実績

2026年3月期 予想配当金

2026年3月期 予想配当性向

84 円

46 %

予想DOE ※ 株主資本配当率

4.0%

予想配当利回り

(株主優待を含む)

4.2 %

《300株を1年間保有した場合》

※ 利回りの基準: 2025年8月末終値(2,166円)



2.「こんなところに『アル』コニックス」





こんなところに『アル』コニックス:スマートフォン・半導体



【当社取扱品の例 ①】

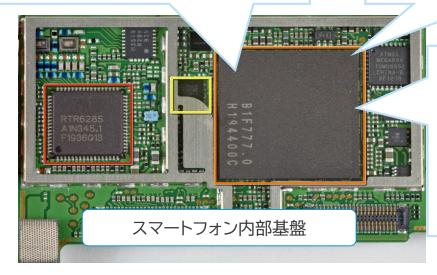


半導体製造装置向け金属部品の製造・販売

【当社取扱品の例 ②】



チップ配線用 銅薄板の卸売



【当社取扱品の例 ③】

電子部品や電池の原料・素材の卸売





世界に広がるアルコニックスのネットワーク



装置材料

8 東海溶業株式会社

自動車部品製造用の金型分野で当社肉盛溶接材料の販 売シェアはトップクラス。表面改賞技術を通して金型・設 備の長寿命化に貢献。

木社工場(愛知県豊田市)

⑩大羽精研株式会社

設計・切削・研削・組立・検査まで一貫生産体制を有し 展新鋭の設備と技術を融合させ「ミクロン単位のものづ くり」で試作から量産までフルサポート。

木社工場(愛知県豊橋市)

9株式会社富士カーボン製造所

「回るを支え、動くを作る」黒鉛の持つ力で世の中に便利 と豊かさを創造したいと考え、カーボンブラシ製造のリー ディングカンパニーを目指す。

本社工場、管池工場(愛知県安城市)、浜名湖工場(酵岡 県) 東京営業所、海外工場(由国:単山/広州、台湾、ベトナ

①株式会社富士プレス

プレスと銀造を融合した板銀造加工・差圧成形・精密深 絞りなどを得意とし、プレスで寸法公差±10μmという 高い精度を実現。

本社工場、模板工場(愛知県大府市)、北九州製作所(福岡 県)、海外工場(メキシコ:サン・ルイス・ポトシ)



大阪府

5 林金属株式会社

アルミ銅

⑥アルコニックス・三高株式会社 材料販売に留まらず、加工と表面処理を施した部品の供

1932年の創業以来、伸鋼品(国内材・海外材)/アルミ/そ の他非鉄金属を2000品目以上豊富に在庫しており自 総、鋼管と加工品の在庫販売、さらに日用雑貨品の企画 社便や運送便で短納期、即納にも対応。 販売を通じ提案型「攻めの流通」を目指す。 本社(大阪府大阪市) 本計(大阪府大阪市)、東京支店、名古屋支店、札幌支店、

⑦平和金属株式会社

Heat Exchanger Organizer "ものつくり"のできる 非鉄金屋専門商社、空園・白動車向け熱交換器部品を中 心に素材から加工品、組立までをワンストップで提供。

本社(大阪府大阪市)、東京支店、海外拠点(中国:広州/ 香港、タイプ(ショク)

福鳥県

アメリカ

®Univertical LLC

ニクス、半導体、自動車分野へ展開。

本社(インディアナ州アンゴラ)。

海外(中国:蘇州市、銅陵市)

装置材料

14株式会社大川電機製作所

創業1938年、アメリカ・インディアナ州に本拠地を構える。

高品質のメッキ材料(アノード、化学品)を製造。エレクトロ

半適体・液品製造装置, 航空機関連機器, 宇宙衛星搭載 用通信機器、モバイル・ワイヤレス通信機器、医療機器 などに使われる様々な精密機械加工部品を製造。

木計(東京) 福倉丁場 上名倉丁場(福倉県福倉市) 山部-関西営業所(愛知県名古屋市)、九州エリア(長崎県大村市)

栃木県

③ジュピター工業株式会社 狭ビッチ(最小0.3mm)多数個取り順送会型の設計・製

作、及び高速回転(最大2000spm)プレス加工生産、-OKING/JEANOEMERS/FURB.

本社工場(岩手県宮古市)、横浜営業所(神奈川県)、海外 工場(中国:蘇州)

装置材料

15 東北化工株式会社

植物「カシュー」からブレーキ用摩擦材で用いられる樹 脂パーティクルのほか、有機化学・粉体技術等を活用し た雷波吸収体を製造

本計工場(栃木県那須烏山市)、海外工場(ベトナム:ピエ ンホア)

③アルコニックスベンチャーズ

CVC (コーポレートベンチャーキャピタル) によるベン チャー企業への投資及び、新規事業の創出。

東京都

①アルコニックス株式会社 非鉄金屋及びレアメタル、レアアース等の製品並びに原

材料等の輸出、輸入及び国内販売。

本社(東京)、支店(名古屋、大阪)、営業所(浜松、広島)、 海外拠点(シカゴ、香港、パンコク、上海、深圳、広州、 デュッセルドルフ、クアラルンプール、台北、ハノイ、ソウル)

本社(東京)

株式会社

装置材料

4マークテック株式会社

非破壊検査および印字・マーキング製品のメーカー。化 学品の受託生産やX線CT等の受託検査サービスの他 積極的なM&Aも推進。

本社(東京)、成田工場(干葉県)、大阪営業所、西日本技術センター (山口県下屋市)海外工場(山田: F海 韓田 タイ:チャチューンサオ)。 海外営業所(インドネシア:ジャカルタ、マレーシア:グアラルンプール)

福岡県 アルミ銅 (7)アルミ銅センター株式会社

持続可能な資源循環型の社会を目指し、国内のみなら ず海外からのアルミ・鋼等の非鉄金属再生資源の回収、 販売を手掛ける

本社・ヤード(大阪府枚方市)、 北九州支店(福岡県北九州市)

配送センター(仙台、川口、名古屋

19株式会社 坂本電機製作所

1945年創業。金屋精密機械加工・産業用制御機器・デジ タル水準器・メカトロ組立の4事業を営み国内外に事業

本社工場(福岡県福岡市)、津屋崎工場(福岡県福津市)、

静岡県

は鋼、鉄、真鍮、ステンレス、アルミなど、

本計工場、松류工場(解団県沼津市)

長野県

製作、機械装置製造。

本社工場(長野県岡谷市)、松本工場(長野)、海外工場 (アメリカ:カンザス)



①株式会社ソーデナガノ

リチウムイオン電池向け金属プレス部品製造、金型設計



雷子機能材 ②アドバンスト マテリアルジャパン株式会社

世界中の資源における流道ネットワークと確かな知識。 技術に基づく高い専門件を活かし最適な適恵・原料供給 までのトータルソリューションを提供。

本計(東京)、海外拠点(シンガポール、中田北京、



当社グループの戦略

商社の能力を活用した「つなぐ」M&A

中小製造業の課題

経営者の高齢化

管理、企画、財務面の課題

効率化投資や 事業構造転換の遅れ



投資対象の主な基準

自社事業と関連する モノづくり企業

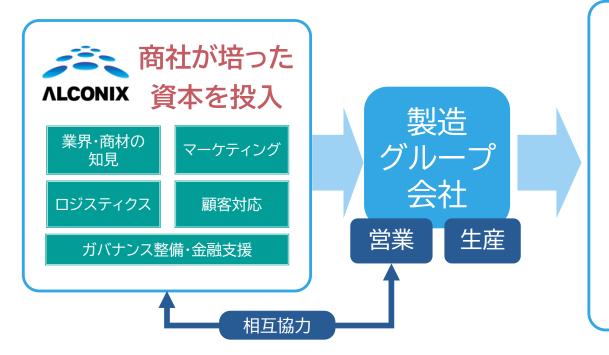
陳腐化しにくい 独自ノウハウで競争力を確保

> 優良な顧客や サプライヤーの基盤

アルコニックスのM&A②



事業承継と「自律成長」の支援



期待する成果

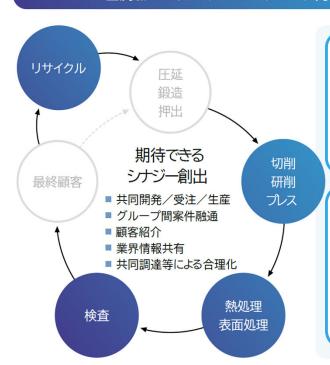
- ◆ 東証プライム上場企業水準の 管理体制を構築
- ◆ 独力では困難な設備投資や 販路の開拓が実現
- ◆ 各社の高度な技術の 更なる向上や、生産量の追求 に注力することが可能
- ◆ 既存事業の生産性向上や 新規開拓を通じて、 個社が自律した成長を実現 (「稼ぐ力」の向上)

アルコニックスのM&A③



グループ各社間の相互連携で付加価値を最大化

金属加工バリューチェーンをグループ内で構築



【補完型】

各社が互いの機能を補完して、 総合提案型の付加価値を創出

【水平型】

同一の機能を全国レベルで連携し、グループとしての受注能力を強化

アルコニックスのM&A④



補完型:半導体・電子機器業界向けに連携

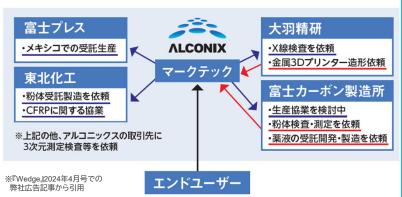


- ◆ 互いに生産余力を融通し、グループ全体で 受注を最大化
- ◆ 顧客情報や技術情報を相互に交換し、 グループとしてビジネス機会を掴む

水平型:グループ同士が設備を相互利用



マークテック株式会社

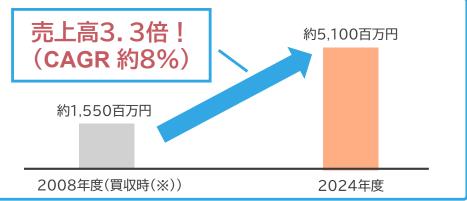


グループ各社の設備や機能を活用し、 検査・生産を受託する新ビジネスを展開

アルコニックスのM&A⑤







(※)2009年8月の連結財務諸表への取込開始時点から2010年3月末までの数値。

売上高2. 2倍! (CAGR 約8%) 約8,600百万円 (MAGR 約8%) 2011年度(買収時) 2024年度



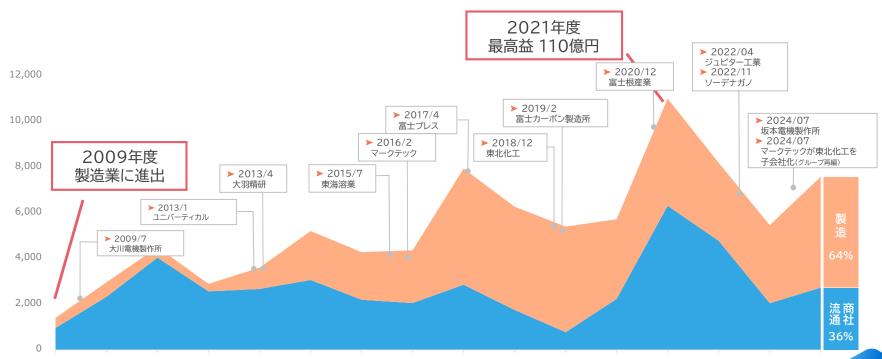


3. 業績の推移と 長期経営計画2030

セグメント別 経常利益推移



製造セグメントが全体の利益に占める割合は年を経るごとに増加



2026年3月期 第1四半期 業績サマリー



経営環境

- ▶ 自動車関連は総じてやや苦戦、半導体関連は堅調を維持
- ▶ ニッケルは引き続き下落基調、アルミ・銅は平均値で前年同期比を若干下回る
- ▶ 非鉄金属スクラップ市場は低迷

2026年3月期 第1四半期 決算 ▶ 売上高 :**52.506百万円**(YoY+14.5%)

▶ **営業利益 :2,445百万円**(同+35.7%)

(営業利益率:4.7% (同+0.7pt)

▶ 経常利益 :2,052百万円(同△1.2%)

(経常利益率: 3.9% (同△0.6pt)

▶ 当期純利益:1,267百万円(同△1.7%)

セグメント業績(百万円)		2026年 3月期 1Q	構成比	YoY 増減率	
		売上高	9,620	18.3%	+28.5%
商	電子 機能材	セグメント	866	42.2%	+20.2%
社流通		利益			
通 列	アルミ 銅	売上高 セグメント	21,683	41.3%	+11.4%
	æl.	利益	△ 147	△ 7.2%	△ 132.9%
	装置	売上高	11,362	21.6%	+10.5%
製造	材料	セグメント 利益	117	5.7%	+90.8%
造	金属加工	売上高	9,839	18.7%	+14.1%
		セグメント 利益	1,172	57.1%	+38.3%

※1 増減・端数調整の関係により数値が一致しない箇所がある ※2 売上高は外部顧客に対する売上高を指す

2026年3月期 業績見通し ▶ 売上高 : 215,000百万円(進捗率24.4%)

▶ 営業利益 : 8,800百万円(同27.8%)▶ 経常利益 : 8,200百万円(同25.0%)▶ 当期純利益: 5,400百万円(同23.5%)

長期経営計画2030



持続可能な成長を目指すグループ経営へ

- グループ収益力の安定性と成長力を高め、新たな成長曲線を描く
- 「パーパス・ビジョンの具現化」と「資本コストや株価を意識した経営」を両立し、「商品・資本・人財」の好循環を生み出す。
- グループの持続的な事業成長を支える経営基盤を充実させ、事業活動を通じた社会の課題解決への貢献を果たす

事業戦略

収益力強化・創出

サステナビリティ戦略

人財戦略

人財育成と生産性向上

財務戦略

資本活用と配分最適化

DX戦略

デジタル利活用

数値目標



	2024年度 実績	2026年度 目標 *	2030年度 目標
経常利益	75億円	110億円以上	150億円以上
ROIC **1	3.9%	6%以上	8%以上
ROE %2	8.6%	12%以上	12%以上

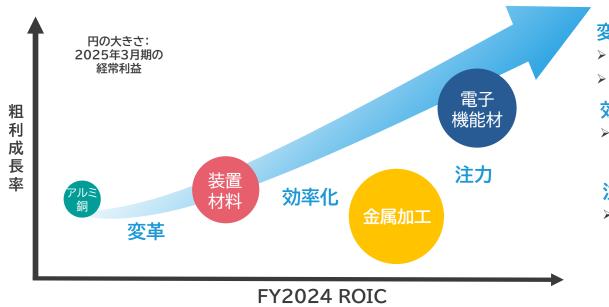
^{※1} ROIC:投下資本利益率(税引後営業利益・(有利子負債+株主資本)×100)※2 ROE:株主資本利益率(親会社株主に帰属する当期純利益・株主資本×100)(「株主資本の定義:連結貸借対照表の 『資本金』+『資本剰余金』+『利益剰余金』)

事業戦略



事業の仕分・組替とグループの連携により価値創造を極大化

- ◆グループ各事業単位で個別取引毎に、「注力」事業の展開・開拓、安定・成熟事業の「効率化」、低採算事業の「変革」を図る
- ◆事業ポートフォリオを不断・柔軟に仕分・組替の上、経営資源を適切に配置する
- ◆グループの持つ様々なリソース(知見、能力、経験、技術)をつなぎあわせ、追加的な企業価値の向上を目指す。



変革

- > 既存事業の収益構造を改革
- > 強みや資産を活かした事業転換を模索

効率化

⇒ コストシェアリングやデジタル技術を 使い、安定収益事業の収益率を向上

注力

▶ 潜在成長率が高い「勝ち筋」分野にて、 既存事業の更なる拡張や 新規ビジネスの開拓を追求

アルコニックスが見据える「勝ち筋」



グループが提供できる価値が「勝ち筋」領域と合致する事業に注力



アルコニックスが見据える「勝ち筋」



今回の特集 ポイント



半導体産業へ積極投資



熱管理·熱制御



チラーユニット

- ▶ 生成AIにより、データセンター関連の世界市場規模は、 2025年から2030年にかけて、約77兆円から約109兆円に到達見込※2
- ▶ データセンターに不可欠な冷却装置向け部材で、当社グループは多くの取引実績

データセンター向け業務用空調事業を強化

動力·動作· 電力制御



チップマウンター

- ▶ 大規模データセンターは、1棟で大量のサーバを導入(最低5000台~数百万台)
- ▶ サーバの大量生産に伴い、電子基板の需要も大幅に増加
- ▶ 当社グループは、電子基板実装装置の基幹部品に強み

増える需要に対応するべく、生産設備を積極的に増強

金属リサイクル事業とは?



循環型社会・循環経済のビジネスモデル





アルミの場合、リサイクルで 温室効果ガス排出量が

30分の1 に減少!

アルミのリサイクルの現状





(出典)一般社団法人日本アルミニウム協会「アルミニウム産業におけるリサイクルの課題への取組み」P10

アルミニウム リサイクル率 43% *1

◆ 多くは「展伸材 ⇒ 鋳物材」の一方向

(資源回収時に不純物が混じりやすく、低減技術の開発も途上) ※ アルミ缶は例外的にそのままリサイクルされる

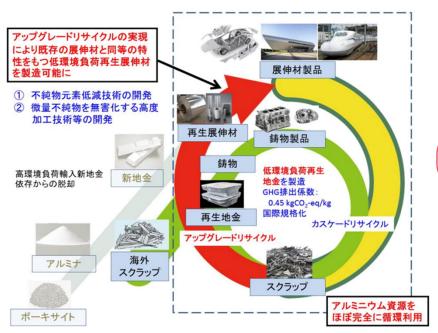
◆スクラップ資源が国外に大量流出!

アルミくず 輸出数量 ^{※2}		
2011年	109,000トン	
2020年	312,000トン	

※1:独立行政法人 エネルギー・金属鉱物資源機構「6.アルミニウム(Al)」 『鉱物資源マテリアルフロー2021』 P21 ※2 同 P10

アルミのリサイクルの「これから」

技術革新、規格制定、物流網の整備で、展伸材リサイクル市場の立ち上がりを期待!



日本のアルミ産業規模※1鋳物・ダイカスト885,763 百万円その他 (缶・電気器具他)424,896 百万円展伸材 (圧延品 ※缶除く)893,068 百万円



国内の資源循環市場が拡大スクラップ集荷能力が重要に

(出典)一般社団法人日本アルミニウム協会「アルミニウム産業におけるリサイクルの課題への取組み」P10

サーキュラーエコノミー:アルコニックスの投資事例



- 非鉄金属スクラップ回収数量トップを目指し、2025年1月 北九州市に「再生資源ヤード」を開業
- 大阪の再生資源ヤードを合わせると、国内でも有数の大規模な敷地面積と国内有数の回収力を誇る。
- ※ アルコニックスが投資し、グループ会社のアルミ銅センターが運営



敷地面積

約27,000m²

《うち現在利用分 9.748㎡》 (2025/02/03時点)

スクラップ集荷量

日本一 を目指す!

サーキュラーエコノミー: 関東ヤード開設に向け土地を取得



関東地方初の新拠点となる「再生資源ヤード」の開設を進め、 全国規模での水平展開を強化

所在地	取得土地面積
埼玉県北部	約20,000㎡ ※一部をヤードに利用

(2026年上期中に着工予定)

Point1

市中スクラップの集荷・保管に加え、 グループ取引先からの工場発生品の 直接入荷も視野に、事業展開を強化

Point2

廃太陽光パネルやE-Wasteなど 新分野のリサイクルビジネスへの 取組みも検討



4. 株主還元と 株主優待

アルコニックスの株主還元



株主還元方針

- ◆ 成長余力の確保と株主還元の両立
- ◆安定的かつ継続的な株主還元
- ◆配当性向(比率)ではなく実額を重視

DOE目標 4%以上

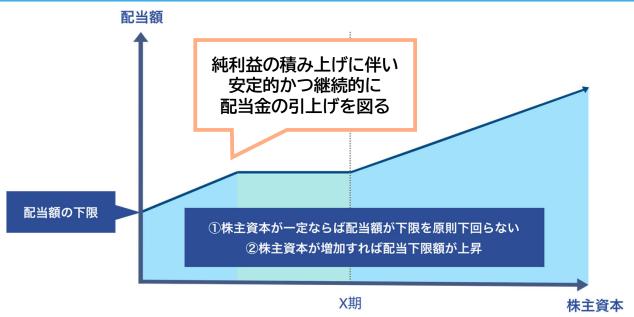
2026年 3月期 配当予想 中間配当 42円 + 期末配当 42円 = 年間 84円(予定)

DOE(株主資本配当率について)



私たちは、成長と共に着実に配当を増やしていくため、 DOE(株主資本配当率)を経営指標として採用

※ DOE = 1株当たり年間配当額 ÷ 1株当たり株主資本 x 100





株主優待:カタログギフト



株主優待のプランについて



アルコニックス



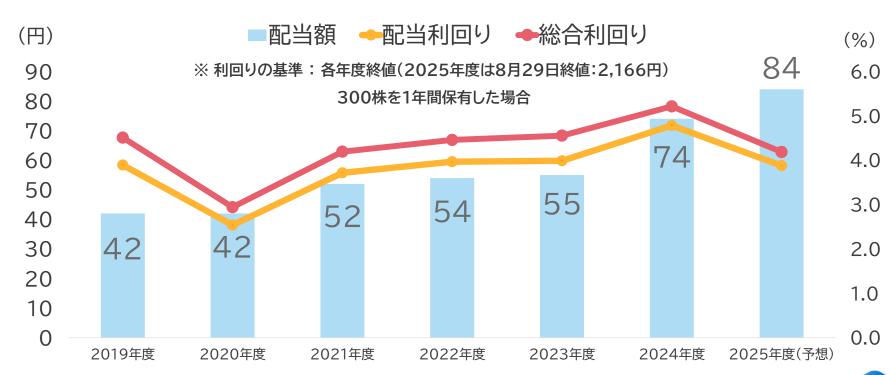
※3年以上継続保有の条件については、1,000株以上の株主さまのみに変更となります。 よくあるご質問については当社ホームページのIR情報>株式について>株主優待の「よくあるお問い合わせ」をご確認ください。

2026年度からの株主優待制度はこのようになります

当社株利回りの推移

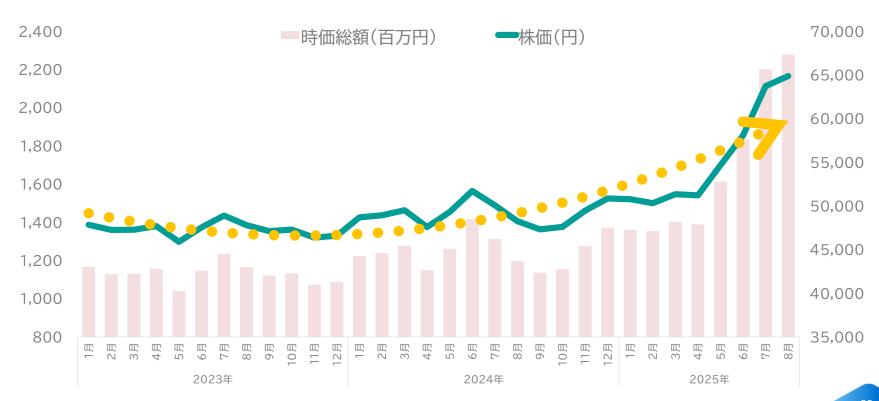


配当利回り約3%以上の水準を維持しつつ、増配基調を継続!



当社株価の推移(2023年1月~2025年8月)





統合報告書2024のご案内



~ 『夢みた未来を描く』~

「アルコニックス 統合報告書2024」では、当社の財務・非財務情報を統合的にご確認いただけます。



《「統合報告書2024」構成》

- ① アルコニックスの企業価値 (当社グループの目指す姿、At a Glance など)
- ② 新たな成長ステージに向けて (CEOメッセージ、当社の中長期成長戦略など)
- ③ アルコニックスの価値創造の源泉 (事業概況、当社の現場特集など)
- ④ 持続可能な夢みた未来 (当社のサステナビリティ取組)
- ⑤ 夢を実現する基盤(ガバナンス体制 など)

【アクセスはこちら】

